

アミティ取扱説明書

はじめに

この度は「ゆっくりレンタカー」をご利用いただきありがとうございます。
本書はキャンピングカーアミティの取扱方法を説明したものです。

キャンピングカーの取扱いは乗用車と異なり、いろいろな機能や機器など、
居住に関わる部分を多く取付けておりますので、ご使用前に必ずお読み
下さい。

また、ボディサイズも乗用車やワゴン車と異なりひと回り大きいサイズ
です。そして重量物などが車体の上部にも設置されていますので運転に
は十分にお気をつけて下さい。

本書は次のお客様の為に大切に保管下さい。

車両の仕様などの変更により、取扱商品、設備に関して内容が一致しない
場合もございます。

あらかじめご了承下さい。



出発前点検

・タイヤの空気圧の確認

車両の指定空気圧は、車両のドア付近に表示されています。アミティの場合は前3.5、後4.25です。

・積載物の確認及び重量のバランス確認（走行安定性確保）

トランク等に積んだ積載物の重量が偏ると車両姿勢が不安定になり安全運転の妨げになります。動かないように固定したりバランスよく積みましょう。

・エントランスドア、バケッジドア、スカーートの施錠確認（うっかり事故防止）

各場所にはキーシリンダーが着いています。止め忘れると走行時に開いたり、暴れたりして事故の原因になります。

・サブバッテリーの電圧の確認

サブバッテリーの電圧がエンジン始動前で11以下になっている場合はエンジンをかけて事前に充電をしてから使用して下さい。

・外部電源コードの確認

外部コンセントケーブルがつながっていないか確認します。

・積み残しの確認（出発前のトラブル防止）

車両の周りに積み残しの荷物があると事故やトラブルの原因になります。

エンジン始動時

・メーター上の警告音の確認

車体の不具合がないか確認します。

・エンジンの異音の確認

エンジンの不具合はないか確認します。

・サブバッテリーの電圧の確認

エンジン始動時に電圧が上がっているか確認します。

・燃料の残量確認

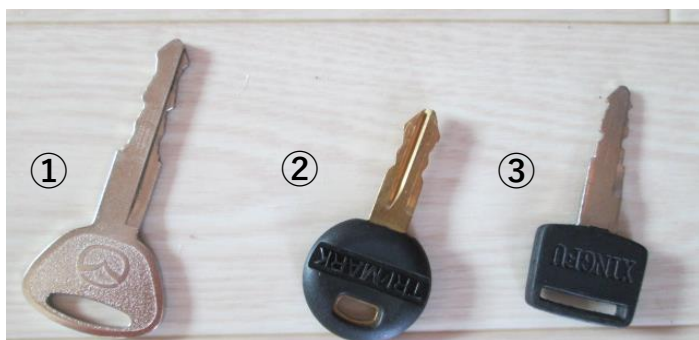
十分な燃料が入っているか確認します。

目 次

1 鍵・工具について	1
2 運転席回りについて	1
3 外装について	2-7
・バケッジドア	
・外部収納庫	
・外部電源	
・サイドオーニング	
・エントランスドア	
・燃料タンクと給油方法	
・ジャッキとスペアタイヤ	
4 下駄箱	8
5 電装について	8-9
・サブバッテリー	
・バッテリー残量計	
・ポータブル電源	
・室内電源集中スイッチ&ヒューズ	
・照明	
6 内装について	10-15
・冷蔵庫	
・電子レンジ	
・液晶モニター	
・ベンチレーター（天井換気扇）	
・FFヒーター	
・リアクーラー	
・給水汚水タンク	
・シンク	
・電気ケトル	
・窓	
・バンクベッド（前上部ベッド）	
・二段ベッド	
・ダイネット	
・ダイネットベッド展開図	15-17
7 トラブルシューティング	18-20

1 鍵・工具について

・鍵について



- ①メインキー…エンジン、運転席のドア、助手席のドア、燃料タンクの鍵です。
- ②エントランスキー（金色）…エントランスドアのみの鍵です。
- ③共通キー（シルバー）…両サイドのバケツジ（収納）ドア、燃料タンクの扉とバッテリーの扉の鍵です。

・工具類



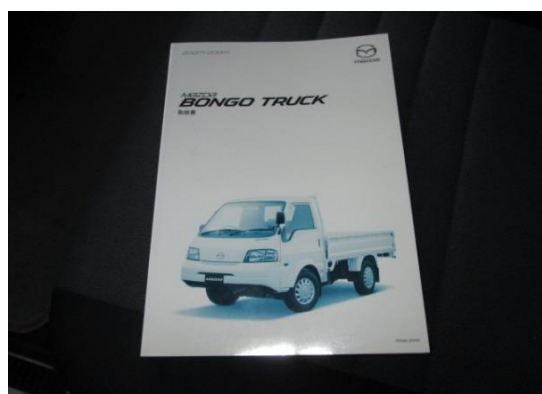
座席後部シート下



工具、ジャッキ

2 運転席回りについて

- ・車の取説をご覧ください。
- ・ハンドル右のナビのスイッチをONにしますとエンジンを切ってもナビやWiFiの使用が可能になります。



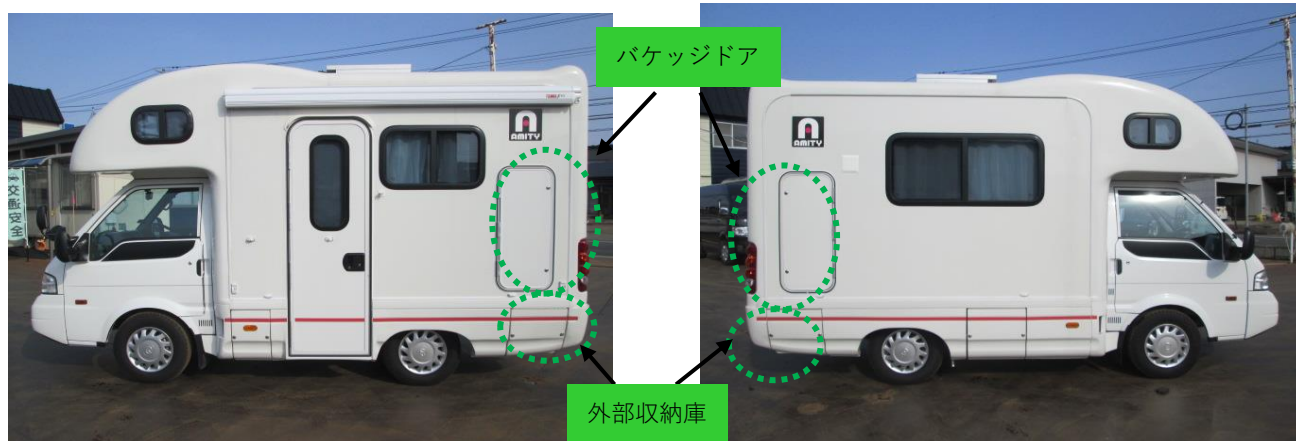
車取扱説明書



ナビのスイッチ

3 外装について

・バゲッジドア



- ・車両左右後部にあります。
- ・鍵を押しながら左に回して頂くと開きます。
(上下2か所)
- ・鍵を押しながら右に回して頂くと閉まります。
- ・2段ベッドの下は収納スペースとなっております。
- ・2段ベッドのマットは取外し出来ますので、
大きい物も収納して頂けます。

(ポイント)

鍵が固く回しにくい場合は扉を手で押しながら回してみてください。

(注意！)

走行前に鍵が閉まっているか確認して下さい。

・外部収納庫

- ・左右バゲッジドア下にあります。
- ・2ヶ所鍵の開閉を行って下さい。つまみを回すと開きます。
- ・フックがあるので、フタを固定できます。



(ポイント)

匂う物や汚れ物などをしまうのに便利です。

・外部電源について

・このキャンピングカーは100V外部電源を接続する事で室内に設置してある100Vコンセントが使用可能となります。



←下駄箱上
サードシート
窓側下→



・車体後ろ左側に小さい黒いキャップがあります。こちらのキャップをあけてください。
・シューズBOXに外部電源コードが入っています。コード先端に矢印が書かれている方を上にして接続してください。外す時は左に回して引き抜いてください。



外部電源ケーブル



矢印が上



外す時は左に回す

(注意！)

・キャンプ場の駐車場で電気を使う場合は必ず外部電源ケーブルを接続してください。
・外部電源コードは使用せず、走行中に100V製品を使用する場合はポータブル電源のコンセントをご利用ください。

・サイドオーニング（日よけ）

- ・ エントランス右側に回し棒があるので取外し、鍵部をFIAMMA F19のロゴ脇の穴にさします。
- ・ 回し棒下部を2か所曲げ、左に回すと日よけが出てきます。収納時は右に回してください。
- ・ ある程度日よけを出したら、日よけ端に脚が収納されておりますので、出してネジで長さを固定して下さい。車体に脚先の固定フックもあります。



回し方
出す時左
収納時右



脚が収納されておりますので出して
ネジで長さを固定してください。

細長いフックの上の部分上げて
脚下部を入れ、フック上部分を下げて
固定します。



（注意！）

強風時にはご使用をお控えください。

・エントランスドア

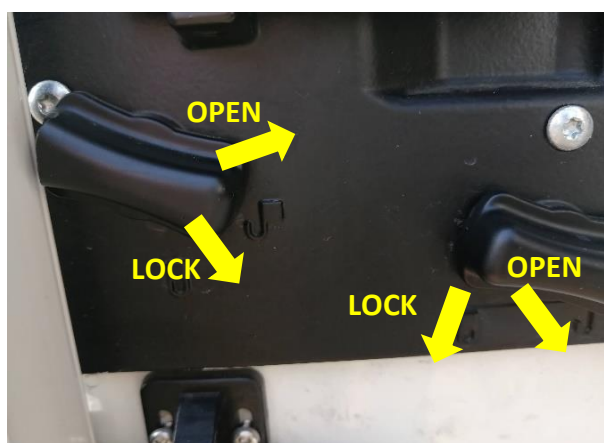
①外側施錠方法

・ エントランスキーで2か所開閉ください。(開：右回し、閉：左回し)



②内側施錠方法

・ 2ヶ所あります。開閉の絵の方向へ回して、ご使用ください。



③網戸

・ 内側にOPENと書かれた黒いレバーを下げると、ドアから網戸が離れます。

④エントランスドア固定方法

扉を固定する場合、エントランスドアキャッチがしっかりはまるよう押し込んでください。

風で扉が勝手に締り危険です。

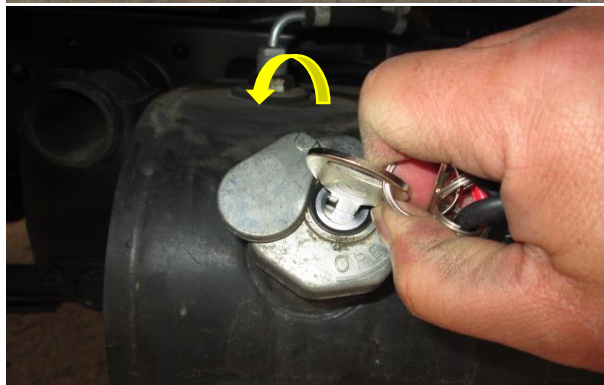
(注意！)

強風時にはエントランスを閉めてください。
ドアキャッチで固定していても外れる
可能性があります。



・燃料タンクと給油方法

- ・燃料タンクは運転席側についております。共通キーで2か所開けてドアをフックで止めて頂きます。
- ・タンクの蓋のカバーを開けて、メインキーを差し込み左に回し、蓋も左に回して開けます。



(注意！)

- ・燃料タンクは乗用車と違い深さが無い為、給油ノズルを奥まで入れた場合、満タン前に給油がロックされます。タンク内を見て給油量を確認しながら給油してください。
- ・ボンゴにはレギュラーガソリンを入れてください。
- ・他の燃料を入れるとエンジンの故障に繋がります。
- ・給油後はキャップや扉の閉め忘れにご注意下さい。

・ジャッキとスペアタイヤ

①設置場所

- ・ジャッキ（タイヤ交換時の工具）が座席後部シート下に搭載されています。
- ・スペアタイヤは車両後方下部に搭載されています。

②スペアタイヤ交換方法

- ・車両右後方にある黒い丸いキャップを外し、棒状の工具を差し込みます。
- ・奥に先端がはまるパーツがあるのでそこにはめます。T地部分がうまくはまるように回し込んで下さい。
- ・棒の手前側にラチェットをはめ込みます。往復運動で回す事ができます。
- ・チェーンがたるむまで下すと内側で引っかかっているフックを外す事ができます。



スペアタイヤ



タイヤ交換用穴



このパーツに棒の先端をはめます。



ラチェットをはめて往復運動で回してタイヤをおろします。



4 下駄箱

- ・ エントランス左側にあります。下段にはサブバッテリーを搭載しております。



5 電装について

・サブバッテリー

- ・ 下駄箱下に2個搭載しております。外部電源を接続しないで車内の電化製品（電子レンジ除く）をご利用の際の電源になります。
- ・ 充電は走行中とソーラーパネルより充電されます。

・バッテリー残量計

- ・ インバーター脇のデジタル表示になります。

<バッテリー残量計目安> →

13.8V～・・・走行充電中

12.7V・・・満充電

12.0V・・・良好

11.5V・・・充電が必要

～10.5V・・・即時充電が必要



・ポータブル電源

- ・ シガーソケットに差し込み走行中に充電しております。
- ・ USB充電ポートやACコンセントをご利用頂けます。
- ・ 液晶モニターをご利用の際はこちらに繋いでご利用下さい。
- ・ 外部電源に接続出来る時は電源を切ってください。



・室内電源集中スイッチ&ヒューズ

- ・ エントランス上部にあります。ONにすると青く光ります。



分かりづらいもの説明致します…リア1/2段ベッド下段、リア2/2段ベッド上段、室内灯/メイン、室内灯2/ダイネット（椅子、テーブル部）、バンク/運転席上ベッド、ルーフベント/天井換気扇、電源1/テレビ後ろのUSB差し込み

・ヒューズ

・ 電源集中スイッチのシールが貼られている部分のカバーを外すとスイッチ毎のヒューズが確認出来ます。
電装品が動かない場合などは一度ご確認ください。

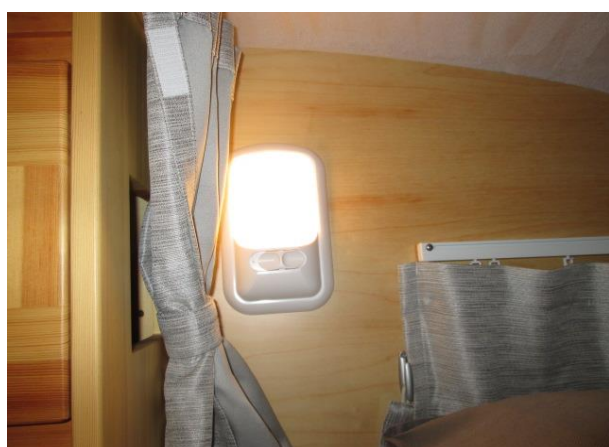


(注意！)

電装品を使用しない時はスイッチをOFFにして下さい。
サブバッテリーが上がる原因になります。

・照明

- ・ 電源集中スイッチに書かれている照明をONにしてご使用ください。



バンク、2段ベッドは個別でON,OFF出来ます



室内灯1

6 内装について

・冷蔵庫（上部に簡易冷凍庫付）

- ・電源集中スイッチ「冷蔵庫」ボタンをONにしてください。ご利用可能となります。
- ・ダイヤル目盛を1~2（弱）で使用して頂けると連続運転も可能になります。

（注意！）

- ・ダイヤル目盛が最大の状態（コンプレッサー連続運転）での使用はサブバッテリー上りの原因となります



（ポイント）

- ・走行中にダイヤルを最大にしておき駐車時に弱にしておくとサブバッテリーの使用を抑えながら冷蔵庫内の温度を下げておく事ができます。
- ・ダイヤルが弱でも冷凍庫に保冷剤を入れておくと冷蔵庫内の温度を保つ事ができます。

・電子レンジ

- ・外部電源接続時のみ使用可能です。

注意！

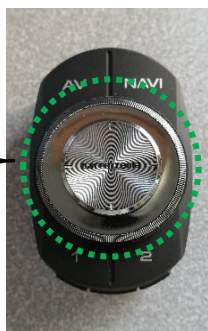
- ・走行中は使用しないで下さい。

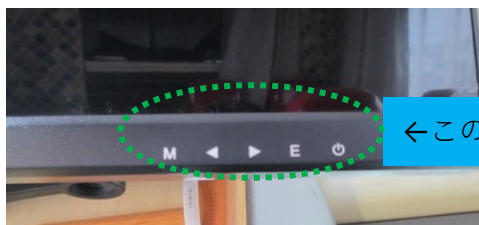


・液晶モニター

- ・ナビをONにします。
- ・ポータブル電源2か所をONにしてモニターのコンセントを差し込みます。
- ・チャンネル、音量はナビ本体やナビのリモコンで変えます。
- ・消す時はナビの電源OFF迄行ってください。

回してボリューム
左右に押してチャンネル





←この表示の裏→



(POWER) (AUTO) (UP) (DOWN) (MENU)

液晶モニター右下の後ろにボタンがあります。

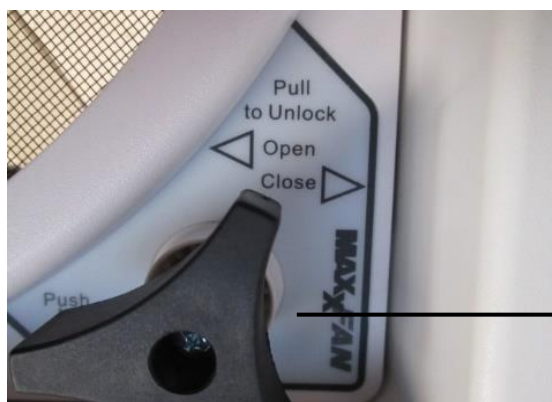
POWER:ON/OFF

音量は M→◀押してその他選択→M（決定）→◀押して音量選択（赤い文字になる）→
◀（下げる）又は▶（上げる）

・ベンチレーター（天井換気扇）



・電源集中スイッチ「ルーフベント」をONにしてください。



外蓋開閉つまみ

- ・つまみを押し上げるとロックします。
- ・つまみを下げるとロック解除します。
- ・時計回りで蓋を閉じます。
- ・反時計回りで蓋を開きます。



- ON/OFF: ファンを作動、停止します。
- IN/OUT: 吸気、排気モードの選択ができます。
- ＋、－: 風力の調整が出来ます。
- AUTO: 一度押すことで25.6℃にセットされます。温度を下げたい時には「－」のボタンを押すことでファンの回転数が増し設定温度までファンが回転し続けます。その後設定温度になったら停止します。 ▲

温度を上げたい場合は「＋」のボタンで同様に設定できます。

（注意！）

- ・つまみがロック状態で無理に回さないで下さい。破損の原因になります。
- ・車を運転する時は必ず全ての操作を止めて上部の蓋を閉めてから始動してください。
- ・ファンが回転中でも外蓋を閉めることにより自動的にファンは停止します。吸排気の切替はファンの停止を確認後行って下さい。ヒューズ切れの原因になります。

・FFヒーター



- ・ヒータースイッチは運転席後ろの家具にあります。
最初に起動する時は、一番右までつまみを回してください。
10分経ったら強弱を調整してください。
- ・電源集中スイッチとは連動しておらず、つまみを回すと点火します。
- ・吹き出し口はダイネット後部シート下脇にあります。
- ・燃料はガソリンですので、残量を確認してからご利用ください。傾斜のきつい所ではFFヒーターはとまったりするのでなるべく平らな所でご使用ください。
- ・走行中は使用をご遠慮下さい。

(注意！)

長時間使用しないと燃料が詰まる場合があります。
1か月に1度は作動させてください。

(ポイント)

エンジンを切っても使えるので騒音の心配がない。
消費電力が少なくバッテリー上がりの心配もない。
燃費が極めて良く、6時間運転で1Lの消費。
燃料は車両のタンクから直接取出しているので燃料切れになる心配も低い。
排ガスを車外に出すので空気が汚れない。



↑ 吹き出し口

・リアクーラー

- ・FFヒーターのスイッチの下にあります。
- ・車のエアコンの装置を居住スペース（後部室内）にもう一つ増設したようなものです。



(ポイント)

エンジンを始動中、カーエアコンを作動させている時だけ使う事が出来る。
エンジン動力をメインとしているのでバッテリーの消耗はない。
エンジン動力の為、外部電源を必要としない。

・給水汚水タンク

・キッチン棚奥側下に清水10L(電動ポンプ入り)、排水10L(緑のホース入り)のタンクを装備しています。(外バケッジドアより出し入れ)出発時には共に空になっておりますので、ご使用になる場合には自ら給水タンクに水を入れてください。ご返却時は両タンクの水を捨ててください。

(注意！)

- ・走行中動かないようタンクをゴムバンドで必ず固定して下さい。
- ・給水タンクが空の状態ではポンプを作動させ続けしないで下さい。故障の原因となります。



・シンク

- ・電源集中スイッチ「水道(ポンプ)」をONにすると蛇口が使えます。水道口は伸びますので外のシャワーフックに引っ掛けてご使用も可能です。



・電気ケトル

- ・電子レンジの棚に収納してあります。ポータブル電源のコンセントを利用してください。外部電源接続時は室内のコンセントをご利用下さい。

(注意！)

- ・走行中は危険ですので使用はご遠慮下さい。



・窓

- ・鍵はロック1カ所で中央のロックを外してから横にスライドさせて下さい。窓が片側だけに開く形になります。網戸も開ける事が出来ます。
- ・窓の目隠しにカーテンがございますが、ホックまではめると冷暖房の効率もよくなります。

・ **バンクベッド** サイズ：1,800 x 1,420 x 650 (H)

- ・ 運転席上部、2名就寝可能です。
- ・ 中央部を手前に引き出しマットをはめ込んでご使用下さい。
- ・ 走行中は大きな収納庫としてご利用いただけます。



・ **二段ベッド** サイズ：1,840 x 720 x 68 (H)

- ・ 車後部、各1名就寝可能です。
- ・ 下段マットの下の空間は収納庫となっています。
- ・ ベッドマットは取外し可能になっており、全て取外すと大容量の収納庫として使う事が出来ます。
- ・ 外のバゲッジドアよりアクセスする事も可能です。



・ **ダイネット**

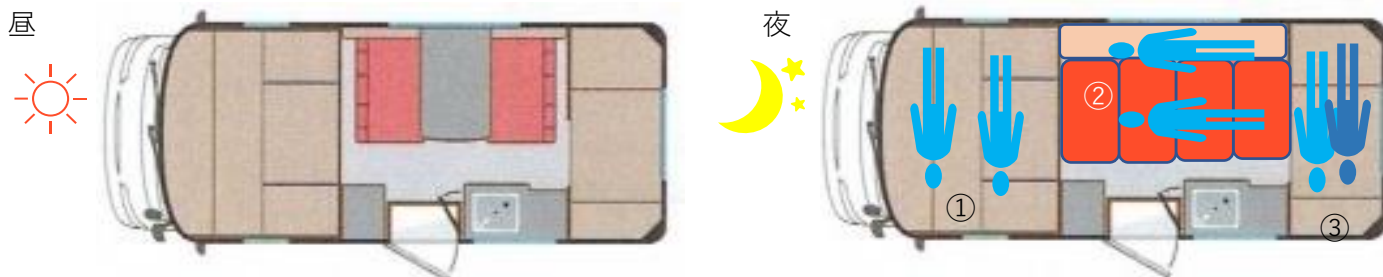
- ・ リビングモード（通常）で貸し出しております。
- ・ ダイネットをベッドに展開する事で2名就寝可能です。
- ＊ ベッド展開は次ページにあります。

(注意！)

- ・ 走行中は危険ですので各ベッドに乗車する事はお控えください。
- ・ 危険ですのでテーブルの上には絶対に乗らないで下さい。



＊ **ベッド利用図**



- ①バンクベッド；横145 c m x 縦180 c m
- ②ソファーベッド；横190 c m x 縦127 c m
- ③2段ベッド；横72.5 c m x 縦184 c m x 2段

・ダイネットのベッド展開

STEP1<前準備>

- ・机を外す
- ・ヘッドレストを外す

STEP2<サードシート>

- ・L字に展開
- ・後方へ移動(カチとなる迄)

STEP3<セカンドシート>

- ・L字に展開
- ・後方へ移動(カチとなる迄)

STEP4<シート背もたれ>

- ・L字の立ってるシートを前方へ倒す

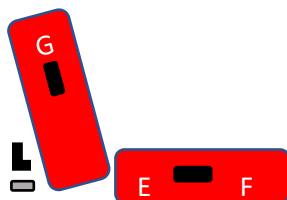
STEP5<補助マット>

- ・窓側の補助マットをセットする

<シート基本操作>

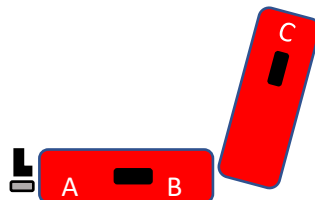
←運転席

(セカンドシート)



後方→

(サードシート)



■ …レバーを下げながら倒したい方へシートを押します



- レバーを上げてシートを前後します
- レバーを動かしたい方向にやりシートを左右にスライドします

STEP1<前準備>



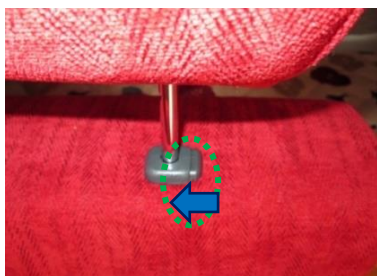
①机を斜め45° に持ち上げます



②足の付け根のボタンを押して足を折りたたみます
(完全にたたむ事でロックされる)

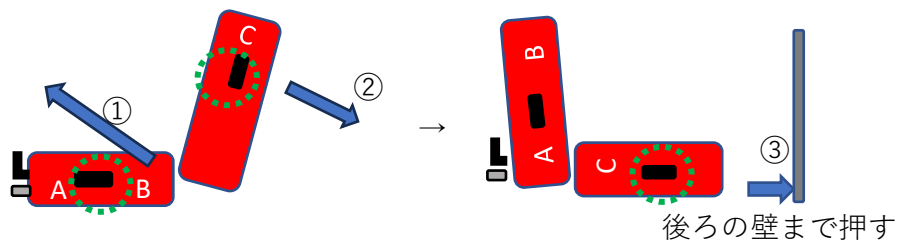


③テーブルをシートの間に置きます



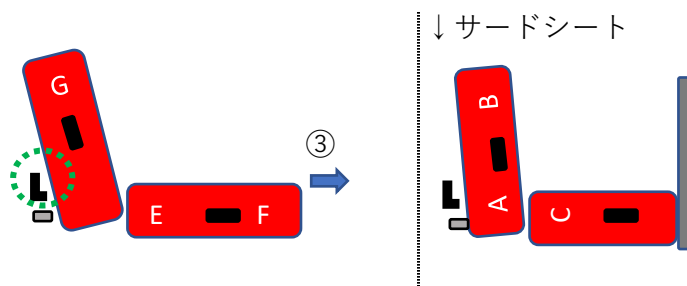
④ヘッドレストを全て外します

STEP2<サードシート>



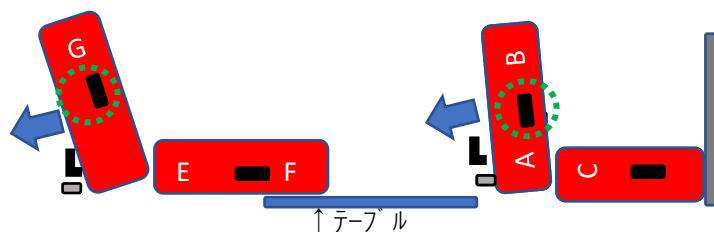
- ① ① レバーを上げて座面ABを90° 持上げる
- ② ② 背もたれCの レバーを上げて背もたれを倒す
- ③ ③ L レバーを上げてシートを後方へ押す(カチッと鳴る迄)

STEP3<セカンドシート>

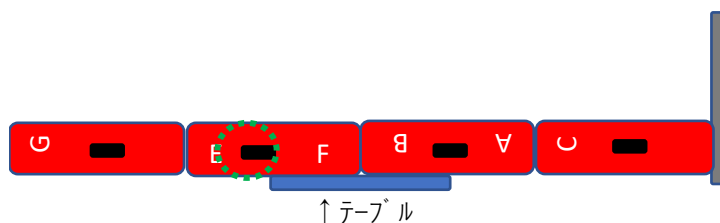


- ① L のレバーを上げてシート全体を車両後方へ移動します

STEP4<サードシート、セカンドシート背もたれ>



- ① 背もたれの レバーを下げながら背もたれを運転席方向へ倒します（フラットにします）



- ② 座面の部分の レバーを下げながら凸凹をフラットになるよう調節します。

* 補助マットを使用する際は レバーを入り口側に引き入り口側へ移動させておく

STEP 5 <補助マット>



①窓側の補助マットを取っ手を引っ張り外して隙間にセットし完成です。

サイズ：1,900 x 1,280

・ダイネットのシートアレンジ

ベッド以外にもシートアレンジ可能となっております。



・リクライニング1



・リクライニング2



・前向きセカンドシート



・補助マット展開



・フラット座面+テーブル

(注意！)

・シートをフラットにした状態でのご乗車は大変危険ですのでお止め下さい

7 トラブルシューティング

・照明などの電源が全て消えた場合

これはバッテリーの完全放電が考えられます。まず、電圧を確認してください。
電圧が下がっている状態でそのままエンジンをかけたり、外部コンセントをつないで充電器を作動して充電をすると、バッテリーが発熱したり、破損する場合があります。
確認できるバッテリー電圧が10V以下になっていませんか。
(放電の状態によってはほとんど電圧が出ない場合もあります。)

○対処の方法

- ①ソーラーパネルのついている車両の場合は、日中であればしばらくソーラー充電しているかどうか様子を見ます。電圧が上がってくれば、そのままエンジンをかけて走り出せます。
- ②外部電源をつないで充電器で充電をする。
この場合、完全放電した場合は充電器が反応しない場合があります。
その場合はこの説明書最後のサブバッテリーが上がった場合の対処方法を行って下さい。
- ③バッテリー電圧が完全に下がってしまった場合
この説明書最後に記した対処方法では充分充電出来ない場合の対応方法です。
ソーラー発電がない場合や、バッテリーの電圧が下がり過ぎて、発熱等で外部充電を受付けない場合などは、全てのバッテリーのターミナルを外し、個々の電圧の確認をして、個々のバッテリーを予備充電させます。

*予備充電方法

12V2A程度で1個あたり約半日～1日程度充電します。

- ・充電器は各自ご用意ください。ホームセンターなどで売っている単純機能の安いタイプで十分です。
- ・高機能タイプや全自動タイプは充電器が作動しません。
- ・接続の際は配線の間違いやバッテリー間のショート、感電などに十分にご注意ください。

予備充電後再度バッテリーを車両に組み付けて終了です。その後エンジンをかける、外部コンセントをつなぐなどで通常充電を行います。

バッテリーを完全放電させると、寿命が短くなる場合がありますので、ある程度の電圧まで下がったら逐次充電するようにしてください。

・冷蔵庫が動かない

この場合は4点考えられます。

- ①主電源の入れ忘れ
- ②バッテリー電圧の低下
- ③本体の故障
- ④庫内温度が低下したので動きが止まっている

まず、バッテリーの電圧を確認してください。

次に、庫内を空けて冷えているかどうかを確認してください。

冷えていればサーモスタットが働いて運転停止していると考えられます。（庫内に調節ダイヤルがあります）

本体の故障が確認された場合は連絡をください。

・MAXファンが動かない

この場合は通常動作と故障が分かります。

○通常動作の場合

センサーで止まっている場合があります。

温度設定で動作しているので、ある程度の温度まで来たら自動的に動き出します。

○故障の場合

- ・ファンが回らない
- ・サーモスタットが効かない
- ・蓋が開かない
- ・雨漏れがする

○対処方法

- ・ファン用の主電源が入っているかどうか確認する。
- ・ファンの温度センサーの設定を確認する。
- ・蓋が開かない場合は、錆、ごみなどの固着、ギアの破損などが考えられます。状態をよく見てから、油をつける、掃除をするなどの対策をしましょう。
- ・雨漏れの場合は、コーキングの劣化、不具合、ごみが詰まっている、何らかの原因でプラスチック部分が破損しているなどが考えられます。
- ・屋根から状態を確認すると原因が判明する場合があります。
- ・これらに該当しないで動かない場合は故障の可能性もあります。
- ・一度症状を確認して、ご連絡ください。

・サブバッテリーが上がった場合

サブバッテリーを使用して設備を動かしている時に、電圧が低くなってしまった場合の対処方法です。車両に装備してある充電器やソーラーチャージャーコントローラーは全自動のため、バッテリー電圧が規定より低くなった場合、保護回路が働いて充電を行いません。

バッテリー電圧が10V以下になった場合、通常の充電方法では充電出来ない場合があります。

そのため、下記方法でバッテリー電圧を上げる必要があります。

①架装部分の全ての電源を切ります。（メインを落として、冷蔵庫、インバーター、クーラーなど全て切ります。）

②エンジンをかけて30分~1時間程度アイドリング状態でサブバッテリー電圧が上がるまで充電

をします。電圧表示は、インバーター、ソーラーチャージャーなどの各電圧計で確認してください。アイドリングの場合、オルタネーターからそれほど大きい電流が流れないため、徐々に充電されて電圧が上がってきます。時間がたてば電圧が12V程度まで上がります。

- ③そのままエンジンをかけておいたり、エンジンを止めて外部コンセントを挿したりしてさらに充電を行います。オプションのソーラーパネルを付けている場合は、そのまま充電が始まります。（これは自動で作動します）

- ④サブバッテリーを十分に充電して終了です。